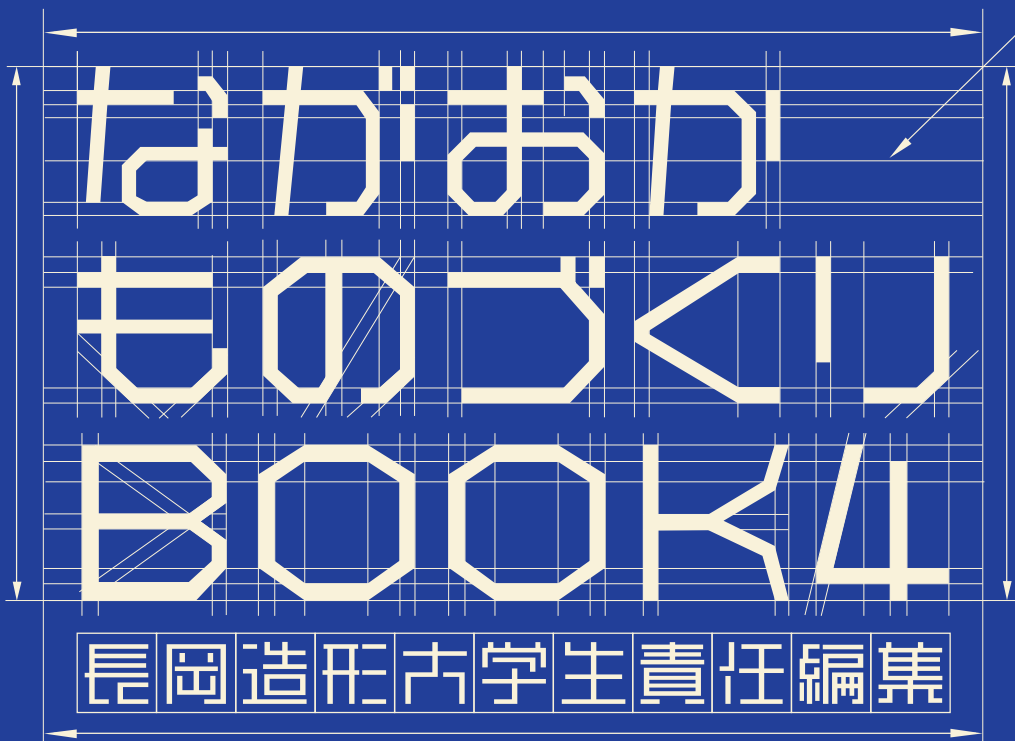
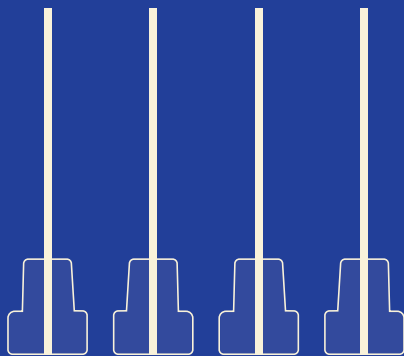
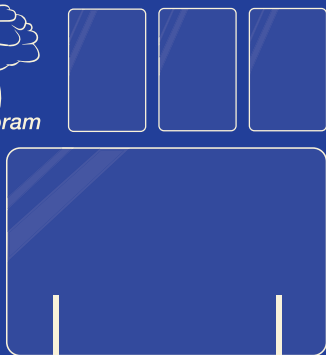
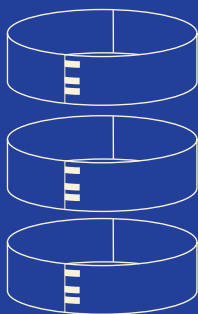
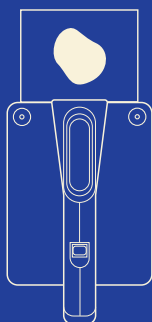
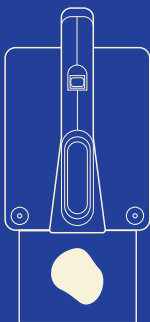




styroforam



長岡造形大学学生責任編集



- soy bean.....??g
- malted rice...??g
- salt.....??g
- water.....??ml

Miso





足立茂久商店



(有) 大塚木型製作所

# 会社紹介



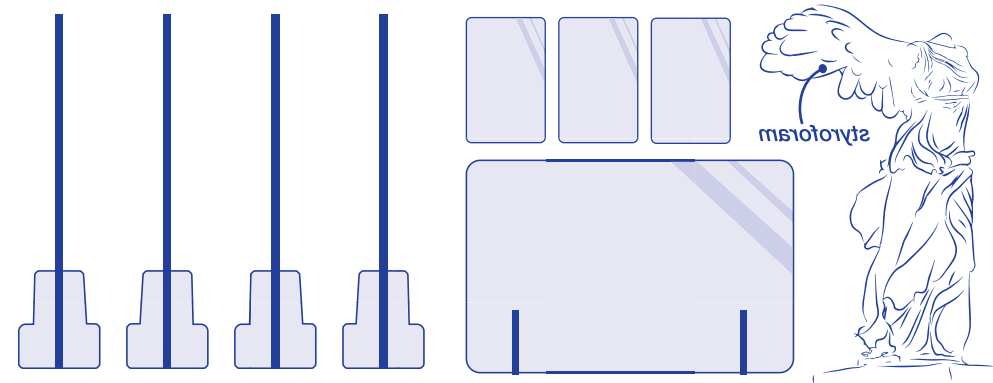
(株) クワバラ



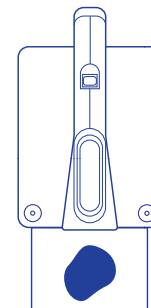
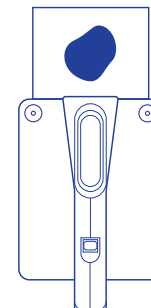
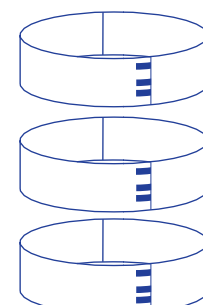
(有) たちばな



古川機工(株)



|        |         |          |          |             |        |   |   |
|--------|---------|----------|----------|-------------|--------|---|---|
| ↑      | ↑       | ↑        | ↑        | ↑           | ↑      | ↑ | ↑ |
| 学生コメント | 古川機工(株) | (有) たちばな | (株) クワバラ | (有) 大塚木型製作所 | 足立茂久商店 |   |   |
| ↓      | ↓       | ↓        | ↓        | ↓           | ↓      | ↓ | ↓ |
| 12     | 10      | 08       | 06       | 04          | 02     |   |   |
| もくじ    |         |          |          |             |        |   |   |



soy bean  
millet rice  
soft  
water

Miso

# 足立茂久商店

時代に合わせて進化し続ける

江戸から続く長岡の伝統工芸品

百年物語

江戸時代から寺泊山田地区でフルイ屋を営む足立茂久商店。現在代表を務める足立照久さんで十一代目を数えます。その昔、同地区は火事が多く、歴史的资料が焼失してしまったそうですが、現代に残る最も古い資料は天保の時代に遡り、当時はこの地にフルイ屋がいくつも存在していたことが記されています。

昔は沢山あったフルイ屋も、現在では新潟県内で一



軒のみとなってしまいました。足立さんは、この地に息づいてきた伝統を守りながら、日々ものづくりに向き合っています。

足立茂久商店では、フルイやせいろ、裏漉しを主に製作しており、全国各地の板前や職人から、とても重宝されています。また、電子レンジで使えるわっぴばや、曲げ輪を使った球体オブジェの製作を行うなど、伝統を守りながらも時代に合わせて常に進化し続けています。



あだち てるひさ

足立照久さん

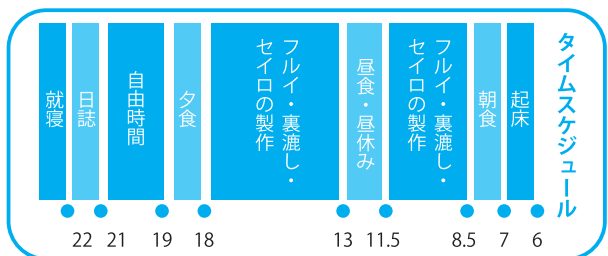
足立茂久商店 代表

**Q** この仕事を選んだきっかけは何ですか？  
**A** 先代の父の姿を見て、この仕事を継ごうと思いましたが、大学を出てすぐこの仕事だったので今年で二十五年目になります。

**Q** やりがいを感じるのとは、どんなときですか？  
**A** 出来上がりをお客さんや板前さんに喜んでもらうときにやりがいを感じます。お客さんに喜んで使ってもらうのが一番ですね。

**Q** 逆に苦労したことは何ですか？  
**A** ものづくりは常に大変なのですが、最近馬の毛などの曲げ物の材料や道具が手に入り辛くなっています。作る技術があってもそ

の材料がなくて作れないのは辛いですね。  
**Q** 趣味や息抜きでやっていることはありますか？  
**A** まずラーメンです！ラーメンと献血と合気道です。  
**Q** 子ども達へのメッセージをお願いします。  
**A** 好きなことを何でもやってみたらいいと思います。役に立つ、立たないとかではなく色々挑戦して、試してみてください。



足立茂久商店  
 〒940-0125 二六  
 長岡市寺泊山田二八九  
<https://www.tech-nagaoka.jp/>  
<https://www.tech-nagaoka.jp/company/a/3991.html>

# 有限会社 大塚木型製作所

伝統技法と先端技術で  
新たなものづくりに挑む

大塚木型製作所は、鋳造用模型を中心に、発泡スチロール、木材、樹脂などの加工を行う会社で、複雑な形状の加工を得意としています。



自動車や産業機械などの

部品を作る際に、溶かした金属を型に注ぎ入れて成型して作りますが、その型のことを鑄型と言います。鑄型を形作るものとなるのが鋳造用模型です。私たちの生活になくはならない製品の多くは、この鋳造用鑄型なしでは作ることが出来ず、非常に重要な技術であると言えます。

昭和三〇年に創業して以来、木材を使った鋳造用模型を中心に製作していましたが、現在は発砲スチロールを使った製品を主としています。発泡型は、複雑な加工と製作時間の短縮を可能にするほか、安価で軽いのが利点と言えます。軽量であることから、女性でも扱いやすく、同社の工場では女性従業員も活躍しています。



型の削り出しの様子

近年は、鋳造業界にとどまらず、航空宇宙産業や景観品、舞台装置、美術用など様々な分野の加工も手掛けています。同社では、鋳造用模型一筋六〇年の大ベテランの方も活躍しており、従業員たちが切磋琢磨して技術を磨いています。伝統技法と先端技術を生かしながら、長岡をはじめ、日本全国の鋳造業界・産業界を支える会社であると言えます。

小林 将さん

工場長



Q この仕事を選んだきっかけは何ですか？  
A 就職活動をしていく中で、目立つ存在ではないけれども、無くてはならない技術であるこの仕事に興味を抱き、就職しました。  
Q やりがいを感じるのは

どんな時ですか？  
A 一番は、自社の製品をお客さまから褒めていただいたり喜んでいただいたり、この仕事をしていてよかったと感じます。また、毎日の努力の積み重ねで、自身の作業スピードが上がったり、納期より早く製品を納められた時に達成感とやりがいを感じます。  
Q 今後挑戦したいことは

ありますか？  
A 木型などの、これまで自社で守り抜いてきた製品や技法を大切にしながらも、時代に合わせ、新しい製品づくりに挑戦してみたいです。  
Q 子ども達へのメッセージをお願いします。  
A 子どもの頃の経験は、決して無駄にはならず、将来必ず実になります。今、挑戦してみたいことに一生懸命取り組んでください。



パルテノン神殿の模型



| タイムスケジュール |    |
|-----------|----|
| 起床・準備     | 7  |
| 出社・役職会議   | 8  |
| 作業・雑務     | 9  |
| 電話対応      | 12 |
| 昼食・昼休み    | 13 |
| 作業・雑務     | 17 |
| 電話対応      | 18 |
| 清掃・見回り    | 19 |
| 帰宅・夕飯     | 23 |
| TV鑑賞・趣味   |    |
| 必要書類などの対応 |    |
| 就寝        |    |

有限会社大塚木型製作所  
〒九四〇-〇八七二  
長岡市北陽二丁目十四番二十四号  
<http://www.ohtsuka.co.jp/>

# 株式会社クワバラ

トウメイを活かし  
クワバラでしか作れないモノをつくる



彫刻機一台でのスタートから五十年続く、株式会社クワバラ。アクリルや金属の板に線や文字を彫る「機械彫刻」と「アクリル加工」を行う会社です。一九七一年、現会長の自宅隣の小屋から始まりました。そして二〇一三年、会長の作業する背中を見てきたという現社長・桑原昭治さんが二代目として引きつぎ、現在へと至ります。



製作できるのは一つから。「ガラスよりも透明度が高い」とも言われるアクリルを加工し、ロゴ入りのアクリルプレート、アクリルのポストカード、透明を活かした新しい形のブックテラー、透明な名刺、最近目にするのが多くなった飛沫感染防止アクリルパネルなどの商品を販売しています。



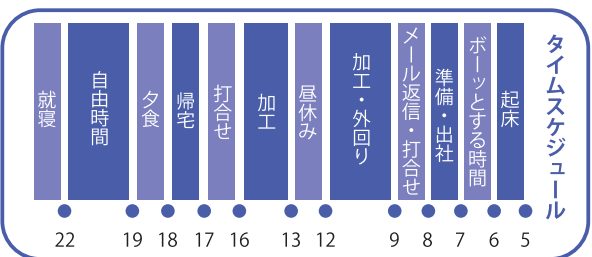
くわばら しょうじ  
**桑原 昭治 さん**  
代表取締役社長

**Q** この仕事を継いだきっかけは何ですか？  
**A** リーマンショックで会社の経営が厳しくなったとき、現会長である父に「会社を任せてほしい」と話しました。それは、小さい頃に父が彫刻機に向かう背中を見ていて、それが脳裏に残り付いていたからかもしれません。

**Q** やりがいを感じるのにはどんな時ですか？  
**A** クワバラにしか出来ないものづくりを大切にしている中で、クワバラのものを選んで、喜んでくれるお客様がいることに喜びややりがいを感じます。  
**Q** 逆に苦労したことは何ですか？  
**A** ものづくりは想定通りにいかないことが多く、それが苦労する部分であり、

面白さでもあります。  
**Q** 職場の雰囲気はどんな感じですか？  
**A** できるだけ社員と接して仕事を楽しむことを大事にしています。人と接することは、本来は面倒なことだと思いますが、みんなと時間を共有することで、楽しい雰囲気を作っています。

**Q** 子ども達へのメッセージをお願いします。  
**A** 子どもたちには、自分のやりたいことはなんでもやってみてほしいです。そしてぜひ、ものづくりにも挑戦してみてください。



株式会社クワバラ  
〒九四〇一〇三九  
長岡市関原南一丁目四三・四六番地  
<https://kuwabara-kt.com/>

# 有限会社 たちばな

長岡の美味しさを味噌で伝える



一〇〇年以上の歴史を持つ味噌蔵を引き継ぎ、麦味噌・米味噌などを製造する有限会社たちばな。昔から大切に守り抜いてきた味噌の味を、日本各地や世界に届けています。従業員は二〇代・三〇代からなり、日本各地や世界に出向き、アグレッシブに長岡の美味しさを伝えていきます。味噌の他に、漬物加工品やラーメンたれなども取り扱っています。



いるたちばな。漬物に使用される茄子は、自社農園で栽培されたものを使用するなど、素材にこだわり、美味しくて安心な製品を、心を込めて製造・販売しています。

「発酵食品は、日本食の根幹である」と話す営業担当の西川さん。味噌づくりを通して、若い力で長岡の歴史と伝統を伝え広めています。



**Q** この仕事を選んだきっかけは何ですか？

**A** 「これからは食が来るな」と思い、専門学校で醸造を学びました。ワイン、日本酒、醤油、味噌などに触れ、菌や発酵に興味をもちました。専門学校の先生がたばなの顧問だったという縁もあり、この会社を選びました。

**Q** やりがいを感じるのとは？

**A** 味噌は、仕込んだら終わりではありません。そこから品質管理がとて大変です。うまく発酵が進む

どんな時ですか？

**A** 同じ麹は二度とできません。その中でどう振れ幅を無くすのか、それを日々考え試行錯誤することにやりがいを感じます。

**Q** 逆に苦労したことは何ですか？

**A** 味噌は、仕込んだら終わりではありません。そこから品質管理がとて大変です。うまく発酵が進む



## タイムスケジュール



にしかわ つよし  
西川 剛志 さん

営業



有限会社 たちばな  
〒940-1154  
長岡市宮栄三丁目五番一八号  
<http://mitsudama.jp/>

# 古川機工株式会社

唯一無二の  
「オリジナル技術×発想力」  
で現場に感動を届ける



→古川機工の外観



平成元年設立の古川機工株式会社は、食品関連機械を中心に、製品の開発から設計・製作・現場への設置・稼働・アフターサービスまですべてを行う社内一貫体制の会社です。同社が大切にしているモットーは、「オリジナル技術×発想力」、そして「現場主義」。お客さまから依頼があれば現場に向き、悩みを聞いて現状を分析。現場の「ムダ・ムリ・ムラ」を無くすためにはどうしたらよいか分析し、課題を解決します。

古川機工の主力製品となっているのが「SWITL(スイットル)」と呼ばれる装置。つかむと型崩れしてしまふような食品等を、きれいにすくい取り、移動させる装置です。焼く前のハン



↑ YouTube チャンネルはこちら

→SWITLの使用例

バーグやコロッケ、生チョコなど、人の手で掴むと形が崩れたり手の跡がついてしまったりするようなものも、きれいに移動させることができます。スイットルは、製造現場に欠かせない機械であり、一度使ったお客様からのリピート率は高いと言います。現場主義から培われた確かな技術力と発想力で、全国の製造現場に感動を届けています。



Q この仕事を選んだきっかけは何ですか？

A 前職を退職し仕事を探していたところ、動画で紹介されていたSWITLに興味を持ち、この仕事を選びました。

Q やりがいを感じるの

Q どんな時ですか？

A お客様の要望に答えるため、カスタムメイドで作っています。毎回違うものをアイデアから製作までやっていくところにやりがいを感じています。

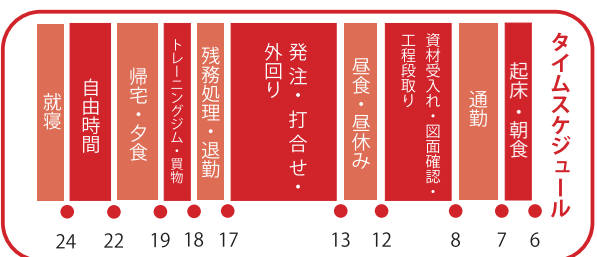
Q 職場の雰囲気はどんな感じですか？

A 堅苦しくなく、従業員に一体感がある会社です。また、若い従業員も自分の考えを発信し、やりたい事

に挑戦ができる、風通しのいい会社です。

Q 子ども達へのメッセージをお願いします。

A 努力は無駄にはなりません。かつこ悪いと思いうことでも一生懸命やって、失敗しても回り回って自分の財産になります。失敗を恐れず何事もチャレンジしてください！



古川機工株式会社  
〒九四〇一三三八  
長岡市滝谷町一九一七番七号  
<https://www.furukawakou.co.jp/>

# 学生コメント

今回、この長岡ものづくりブックに関わらせていただきました岩田です。長岡のものづくり現場取材させていただいたことで、働く方々の作ることへの情熱にリアルに触れた感じがします。この場をお借りして、協力していただいた市役所の方々や現場の方々に感謝申し上げます。

岩田雄大郎

IWATA YUTAROU



長岡のものづくりに触れ、こんなにカッコイイ技術や製品と、情熱を持って仕事をしている人たちが長岡にいるのか！ととてもワクワクしました。ものづくりBOOKを通してこの感動を伝えられたら嬉しいです。ものづくりに面白いかもと思ったら、身の回りの製品をよく見てみると、楽しい発見がきっとあります！

鈴木悠

SUZUKI HARUKA



この制作を通して、長岡が多分野にわたり世界に誇れるものづくりが盛んな町であることを知りました。実際に工場内を見学し、初めて見る高度な技術には圧倒され、ものづくりの面白さに関心を持ちました。冊子を読んだ皆さんにも、長岡のものづくりにカッコイイ、素敵だなど思っていたら嬉しいです！

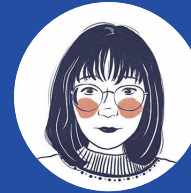
富田光紅

TOMITA MIKU



道方かりん

DOUKATA KARIN



この冊子を制作するにあたって実際に働く方からのお話を聞いていき、私も長岡市のものづくりの魅力に触れ、お仕事へのごたわりや想いを知ることができました。この冊子を読んでくださった方に、長岡のものづくりに興味を持っていただけたら嬉しいです。ありがとうございました！



金雅鈿

KIN GATEN

様々な企業のインタビューを通して、ものづくりの魅力を深く感じました。身近なものの背後には職人のごたわりがあります。この長岡ものづくりブックを読んだみなさんも、自分を探し、やりたいことを見つけられれば幸いです。

今回の取材でネットでしかわからなかった会社のことが、実際に取材をしてみて印象が変わったり社員の方の人柄が知れたりとても楽しい体験でした。このものづくりBOOKで地域の会社と皆さんが繋がって、魅力が伝われば幸いです。

高橋香穂

TAKAHASHI KAHO





## このフリーペーパーは長岡造形大学「地域協創演習」 のプロジェクトとして学生7名で制作しました！

地域協創演習は地域産業と学生・教員が協働して地域の新たな価値を創造することを目的とした授業です。

協力：足立茂久商店 / 有限会社大塚木型製作所 / 株式会社クワバラ  
有限会社たちばな / 古川機工株式会社

企画：長岡造形大学 地域協創演習「長岡ものづくり紹介冊子の制作」チーム

監修（指導教員）：山本敦

編集・デザイン：鈴木悠 / 高橋香穂 / 道方かりん / 岩田雄太郎  
鈴木結葉 / 富田光紅 / 金雅鈿

発行：長岡市商工部産業支援課

〒940-0062 長岡市大手通 2-6 フェニックス大手イースト6F

TEL：0258-39-2222

発行日：2022年2月14日

※本書の無断複写（コピー）は著作権法上の例外を除いて禁じられています。